



# いのち

平成 29 年 5 月 18 日 第 52 号  
日立メディカルセンター看護専門学校  
日立市高鈴町 1 丁目 4 番 10 号

## 日立メディカルセンター看護専門学校の今後について

学校長 末永 仁

平成 28 年 6 月から、体調を崩されて辞職された故・小澤 興先生に代わり、学校長に就任致しました末永です。力不足だとは思いますが、新たに副学校長に就任して頂いた嶋崎陽一先生のサポートを受けながら務めさせていただきます。どうか宜しくお願い致します。また、この場をお借りして、10 年の長きにわたり当校を牽引してくださった小澤 興先生に改めて感謝申し上げる次第です。

まず、当校は 1970 (昭和 45) 年准看護科を開校した日立市医師会附属准看護学院を母体とし、1973 (昭和 48) 年に看護科を開校した『日立メディカルセンター看護学院』を経て、2008 (平成 20) 年、現在の所在地に移転、新築し、名称も『日立メディカルセンター看護専門学校』と名称を改め、2020 年には開学 50 年を迎える事になります。この間、建学時に当たり前であった「働きながら学ぶ」ということが、時代の流れとともに変化し、医療機関に就業せずに学ぶ学生の割合が徐々に大きくなり、これが看護学科への進学希望者の減少につながってきました。夜間 3 年課程の当校看護学科ではなく、昼間 2 年課程の看護専門学校への進学者が多く見られるようになってきました。最近の当校の入学希望者の減少、准看護学科から看護学科への進学希望者の減少は無視できないレベルになっています。これが日立市をはじめとする、茨城県北地域の看護師不足をより助長する状況になっています。

そこでこの度、日立市、茨城県のご支援を受け、2020 年の建学 50 周年を期して、以下のような大幅な制度見直しを行う事になりました。

- 1) 平成 29 (2017) 年度入学生をもって、准看護学科の募集を停止する (昼間 2 年制の准看護学科の募集を停止し、平成 30 年度で准看護学科を廃止)
- 2) 平成 29 年度の准看護学科入学生が進学する、平成 31 (2019) 年度をもって、2 年課程の看護学科の募集を停止する (夜間定時制、修業年限 3 年の看護学科の募集を停止し、平成 33 年度で廃止)
- 3) 平成 32 (2020) 年度入学生より、3 年課程 (昼間) の看護学科 (1 学年定員 80 名) のみの募集を開始する。(准看護学科の課程はありません)

このように、准看護学科の養成と、夜間の看護学科の養成事業を終了し、平成 32 (2020) 年からは昼間 3 年課程の看護学科のみの養成機関へと舵を取ります。これからは入学から 3 年で看護師資格受験資格を取ることができるわけです。そして、定員増員の必要から 1 学年 2 クラス制になりますが、1 つの教室の最大人員が 40 名なので、1 学年 80 名まで受け入れられる事になります (定員 80 名になりますが、上に書いたような理由により、簡単に定員を充足できるとは思っていません)。これにより、短期間に地域に看護師を輩出することが可能となり、地域での看護師不足にも貢献できるものと信じております。

ただ、現在准看護資格で働いておられ、将来的に看護科に再入学を考えていた方達には大変申し訳ありませんが、夜間 3 年生の看護科がもう直ぐ無くなってしまいます。看護科に入学できるのが来年度 (平成 30 年、2018 年春) と再来年度 (平成 31 年、2019 年春) の 2 回のチャンスしか無くなってしまいます。どうか、看護科への進学をお考えの方は、この 2 回のチャンスを活かして当校看護科に入学し、看護師資格を取得して頂くようお願い致します。

最後になりますが、看護師という崇高な理念を持った職業に就き、他の人のために働いておられる当校卒業生の皆様を誇りとし、今後の看護師教育に活かしていきたいと思っております。



## 入学して思うこと

准看護学科1年

6日に入学式を終え、新たなスタートを切り、期待と不安で複雑な気持ちです。そんな中で、これからの准看護学科の入学生として生活面、勉強面での目標があります。

生活面では、無遅刻、無欠席。また規則正しい生活を心がけたいです。准看護師を目指す者として、一番大切なことは、自分自身の体調管理だと思います。自分の体調管理を常に整え、どんな事をする時も時間をきちんと守り、規則正しい生活を送りたいです。勉強面では、高校生の勉強とは違い、看護についての専門的な科目が増えます。今まで習ったことがないような勉強をするので、戸惑うこともあるかもしれません。その中で、予習・復習をきちんとし、勉強のペースを築いていきたいと思っています。また、課題や提出物はぎりぎりではなく、早めに提出するように心掛けたいです。

最後に、病院での勤務と、学校での勉強の両立をさせることです。週4日間は学校で看護について学び、週に2日間は看護助手として病院で勤務することになります。どちらかに力を入れすぎてしまうと偏ってしまうと思うので、気を付けたいです。

クラスメイトの年齢はバラバラですが、同じ夢に向かって勉強に励み、行事やイベントを通して友情を深めたいと思います。役に立てて相手のことを気遣える看護師になりたいです。



## 入学して思うこと

看護学科1年

4月6日に看護学科45回生31名は無事に入学する事ができました。

看護学科に入ってから目標は4つあります。1つ目は准看護学科で学んだ知識をさらに深めることです。2つ目は看護師としての接遇を身に着けること、3つ目は観察力を高め、その場に応じた判断ができるようになること、4つ目は看護師国家試験に合格することです。

1つ目の知識を深めることについては、准看護学科では人体の働き、疾患と幅広く勉強をしてきました。その知識を基に、看護学科ではさらに深め、「一人ひとりの患者に必要な看護は何か」を理解し、実践できるようになるため勉強に励みたいです。2つ目の看護師としての接遇を身に着けることについては、患者や家族に「この看護師なら安心だ」と感じてもらえるように身支度から気を付け、正しい言葉使いができる看護師になりたいと思います。3つ目の観察力を高めその場に応じた判断ができるようになることについては、1つ目に挙げた知識を深めるだけでは患者のことを理解できません。観察力を高め、緊急時にも対応できるようになりたいです。4つ目の看護師国家試験に合格することについては、3年間、学校に通い勉強しても3年後の国家試験に合格しなければ意味がありません。不合格になっても翌年に受験することはできますが、一回で合格するようにクラス全員で切磋琢磨していきたいです。今後、学校生活では講義、学内実習、テスト、臨地実習と目まぐるしい生活です。それらを通して、時には嬉しかったり、楽しかったり、悲しかったり、辛かったりという感情になることもあると思います。それらをすべて乗り越え、最後には、みんなで「3年間楽しかったね」と言い合えるようになればいいと思います。

